

(3) ②様式第3号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI / 12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院・教 育委員会等	実施機関名・連携機関名： 千葉大学大学院教育学研究科高度教育実践専攻
コラボ研修プログラム	事業名：千葉大学教職大学院公開講座
支援事業報告書	研修等名：【NITS・千葉大学教職大学院コラボ研修】 千葉大学教職大学院公開講座 「教育現場の最新事情～現代的教育課題への具体的取組～」 開催日時：令和6年8月17日、12月1日 8時50分～16時30分 開催場所：千葉大学（千葉県千葉市弥生町1-33） 参加人数（総数）と参加者の属性： （のべ244人）現職教員等184人、教職大学院生等60人
目的： 継続的な教師の学びの契機と機会を提供するために、各分野の専門家や教職大学院専任教員等による講義を校外研修の一つとして公開する。教師自らが最新の知識や技能を習得すると共に、「令和の日本型教育」を担う「教師の新たな学びの姿」を実現するための研修として位置づけ、教師に必要な学びの環境の充実を図る。	
内容： 各分野の現状や課題、対応に精通した講師による講義、及び本学教職大学院専任教員がコーディネーターとなり、本学教職大学院修了生、在学生等を交えたディスカッション等を実施した。 【第1回】8月19日（土） 講座① 「学校の国際化の現状と課題への対応 ～未来を共に生きる「市民」を育てるために～」 敬愛大学 教授、千葉大学 グランドフェロー 土田 雄一 氏 NPO 法人多文化フリースクールちば 代表 白谷 秀一 氏 千葉市立高浜第一小学校 教諭 長門 正洋 氏 千葉大学教育学部 松井 聡、森 美香 講座② 「個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて～「ファースト GIGA」から「セカンド GIGA」へ～」 東京学芸大学教職大学院 教授/学長特別補佐 堀田 龍也 氏 柏市立手賀西小学校 教頭 鈴木 由里 氏 千葉市教育センター 指導主事 赤岡 俊輔 氏 市川市立東国分中学校 教諭 井上 菜美 氏 千葉大学教育学部 八木澤史子、伊藤 裕志、村田 正実 【第2回】12月1日（日） 講座① 「令和の日本型学校教育が問いかける学校経営 ～『今後の教育課程、学習指導及び学習評価の在り方に関する有識者検討会』における論点整理をもとに～」 千葉大学 名誉教授 天笠 茂 氏 千葉市立幕張東小学校 校長 石井 雅代 氏 千葉市立稲毛中学校 教諭 土屋 裕宣 氏 柏市立土小学校 教諭 井上 昇 氏 千葉大学教育学部 伊藤裕志、松井 聡、村田正実 講座② 13：30～16：30 「学校と日本社会と『休むこと』 ～子どもたちと学校を取り巻く不登校に係る現状と課題～」 千葉大学 名誉教授 保坂 亨 氏 千葉大学教育学部 教授 貞廣 斉子 千葉大学教育学部 大野英彦、國吉浩二、森 美香	

成果：実施後のアンケート調査から

- (1) 講座の内容に満足したか…とても満足 75%、満足 24%、やや不満 1%、不満 0%
- (2) このような講座にまた参加したいか…とても参加したい 92%、まあ参加したい 8%、あまり参加したくない 0%、参加したくない 0%

<参加者の自由記述から> (抜粋)

- ・すばらしい講師の先生方をお呼びくださり、感謝です。
- ・国の目指す方向を直接お聞きできる機会として、とてもありがたい。
- ・運営もスムーズであり、毎年この時期に行っていただき、現代的な課題に対応するよい機会となっています。
- ・質問を集約してもらうことで講座に参加できてよかったです。
- ・学びのフィードバックができるのと、他の先生方からの情報を教えていただくことができる。今までは、意見を言う機会がありませんでしたが、意見を言うことができたことがよかったです。
- ・定期的に参加しやすい、講座の内容を消化する時間(協議)が確保され、わかりやすかった。
- ・今年度は午前、午後一講座であったかが、可能であれば、諸課題に関する最新の学びをたくさんしたいので午前午後にもう少し講座があるとありがたい。
- ・夏季休業中や土日開催であることは、時間等を調整でき、教員にとって参加しやすい。
- ・私自身は千葉大学を卒業し、埼玉県で小中の教員として勤務、教員免許更新講習も千葉大学で受講しました。私にとっては、教員としての歩みの原点は母校の千葉大学にあると思っています。免許更新講習はなくなりましたが、その後も毎年教員研修に力を入れている千葉大学教育学部・教職大学院の取組に感銘し、昨年度から参加させてもらっています。隣県ですが、県を越えて研修を受けられる機会も大変貴重です。私自身は定年退職後再任用2年目です。再任用となると、いろいろと研修の機会も減ってきます。私にとっては、再任用の機会の貴重な教員研修の場となっています。
- ・現代的な教育課題を取り扱っていただいたので、非常に勉強になりました。方針を学校と教育委員会とで共有することが必要と感じました。一方で、うちの自治体だけ走るということに怖さもあります。

「NITS からの提案（第一次）」との関連における研修担当者としての気付き

昨年度までの実施形態（なるべく多くの講義を入れ、情報提供の機会とする）から、受講者のアンケート調査結果及び担当者間で協議により、以下のことに取り組んだ。

○「研修デザインの三角形」について

本講座の研修目標は、現代的な教育課題についての新たな知見や技能に関する講義を通して自らの教育実践や研修内容と計画等を振り返り、工夫改善することにある。

そのため、まず、事前に講座の内容について知らせ、受講者のニーズに合わせた選択を可能とし、「何について学ぶか」を明確にできるようにした。

次に、研修過程・方法として、講義とともに受講者同士の意見交換やリフレクションを行うことにより学びを深めたいと考えた。そのため、本講座の講師には、新たな知見や技能について知る機会の供与とともに、個々の気づきや疑問についての質疑に応えるよう依頼した。コーディネーター役の者が会場からの質問を受ける時間を確保したり、受講者に質問用紙に質問等を記入してもらい協議の話題にしたりするなど、受講者同士の考えや意見を交換する場や振り返りを共有する場を設定するように努めた。

取組の結果、上記の成果にあるように、講座内容についての考えを深める機会の確保や質疑応答を通すことにより、学びがより深まることを確認できた。

一方、今年度の取組では、限られた時間や場所の制限により、意見交換や振り返りの場を十分にとることができなかった。工夫改善に努めたい。

アイデアや工夫したこと：

- ・主たる参加者である現職教員が参加しやすいように夏季休業中及び週休日に開講した。また、受講のしやすさと、受講者のニーズに合わせた選択を可能とするよう、参加申込みを午前と午後で分けた。参加者数は、両日の各回とも、約 60 人となった。
- ・昨年度とは異なり、両日の午前と午後一つずつの講座を開講した。講義とともに、講師との質疑応答やパネルディスカッションの場を設定して、講座の内容を深めるようにした。パネルディスカッションのパネラーには、講座内容に造詣が深い関係者、そして今後のリーダーとして期待される本学で学ぶ教職大学院生等を選定し、受講者の様々な世代の思いや考えを反映できるようにした。
- ・千葉県教育委員会、千葉市教育委員会の後援をとり、千葉県内全公立学校にチラシを配付した。

【NITS・千葉大学教職大学院コラボ研修】
令和6年度 千葉大学教職大学院公開講座
教育の最新事情
～現代的な教育課題への具体的取組～

千葉大学教職大学院による公開講座を開催します。「学び続ける教師」の具現化をめざし、各分野の専門家が新たな知見に基づき提案します。最新の知識や技能等を習得するための研修として、また、継続的な学びの機会として、ぜひお役立てください。
本講座は、教職員支援機構（NITS）とのコラボ研修プログラムとして開催します。

◆日時 第1回 令和6年 8月17日（土）9:00～16:30
第2回 令和6年12月1日（日）9:00～16:30
◆会場 千葉大学教育学部 2号館 2111教室
◆対象者 教職員・学校管理職・教育委員会関係職員・教職大学院生等
◆募集定員 60名（定員になり次第、締切りとさせていただきます）
◆受講料 無料
◆内容（予定）